

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 担当部課名 | 企画広報課 | 関連部課名 | 観光商工課 |
|-------|-------|-------|-------|

| | |
|--|---------------------|
| 基本目標 | 賑わいと元気あふれるまちづくり【産業】 |
| 施策名 | 新産業 |
| 蒲郡独自の新産業の創出にむけて、繊維製品の高付加価値化、農産・水産品を活かした地域ブランドの推進、企業の研究開発支援による新商品や技術開発の促進、産学官の共同研究、農商工の連携促進、先端技術を有する先進企業の積極的な誘致などの取組を推進します。 | |
| 施策が目指す蒲郡市の将来の姿 <ul style="list-style-type: none"> ●蒲郡の地域資源を活かした独自の新産業が発展し、経営基盤の強化・雇用の創出が進められています。 ●中部のものづくりの地域性を活かし、豊かで活力ある新産業都市となっています。 | |

◆具体化した施策の取り組み実績

1 地域資源を生かした新しい産業づくり

| 項目 | 平成22年度実績 | 平成23年度実績 | 平成24年度計画 |
|--------------------|----------|----------|----------|
| 産学官連携プロジェクト | 3 | 0 | 2 |
| アンチエイジングの郷推進プロジェクト | 4 | 5 | 4 |
| | | | |

2 新分野進出事業者への支援

| 項目 | 平成22年度実績 | 平成23年度実績 | 平成24年度計画 |
|-------------|----------|----------|----------|
| 創造的事業活動支援事業 | 1 | 0 | 1 |
| | | | |
| | | | |

3 産学官連携、異業種交流の促進

| 項目 | 平成22年度実績 | 平成23年度実績 | 平成24年度計画 |
|----------|----------|----------|----------|
| 産学官交流サロン | 0 | 0 | 3 |
| | | | |
| | | | |

4 先端技術産業の誘致と集積

| 項目 | 平成22年度実績 | 平成23年度実績 | 平成24年度計画 |
|------|----------|----------|----------|
| 企業誘致 | 0 | 0 | 0 |
| | | | |
| | | | |

◆評価指標

| 指標名 | 区分 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 将来目標 |
|----------------------|-----|--------|--------|--------|--------|
| 交流サロンの実施回数 | 目標値 | | 1 | 3 | |
| | 実績値 | 0 | 0 | | 平成32年度 |
| 産学官連携プロジェクト件数 | 目標値 | | 3 | 3 | |
| | 実績値 | 3 | 0 | | 平成32年度 |
| 創造的事業活動支援事業補助対象事業数累計 | 目標値 | | 15 | 15 | 23 |
| | 実績値 | 14 | 14 | | 平成32年度 |

◆指標の説明・考え方

| 指標名 | 説明・考え方 |
|----------------------|---------------------------------------|
| 交流サロンの実施回数 | 愛知工科大学と市内企業等による交流を促進し、新産業の芽を育む。 |
| 産学官連携プロジェクト件数 | 愛知工科大学と市内企業等で連携し、技術革新や新商品の開発を行う。 |
| 創造的事業活動支援事業補助対象事業数累計 | 技術・ノウハウの研究開発及びその成果までを支援し、地域産業の活性化を図る。 |

◆指標の分析

・交流サロンの件数を増やすことによる、シーズを市内企業に周知する。
 ・交流により、市内企業のニーズを大学が把握し、新規商品開発への支援を行う。
 ・新規開発による国、県等の補助金を獲得し、新商品の開発、技術革新による雇用数の増加及び維持を促進する。
 ・創造的事業活動支援事業は、平成10年度から平成22年度までの13年間で14件の実績であったが、平成23年度は利用なし。制度については3年間の延長(平成27年度まで)を図った。

◆今後の方針

施策の課題

- ・新規事業開発に向けた資金の確保(国、県などの補助制度の活用)
- ・市内企業の新規プロジェクトの参加促進(会議所所管の鉄工会等への参加の要請)
- ・愛知工科大学の積極的なシーズの開放及び他大学との連携
- ・新規プロジェクトの探索(企業ニーズの把握)

今後の施策展開

- ・愛知工科大学のほかに他の大学との連携を行うことで、市内企業のニーズへ幅広い対応を図る。
- ・医工連携によるヘルスケアなどの新しい分野へ視点を広げ、高度技術を市内企業へ促進を図る。
- ・「海のまち」の特性を活かした海上牧場、海洋資源などのエネルギー分野など未知の市場の開拓を行う。
- ・創造的事業活動支援事業については、年に1～2件程度は引き続き実施し、地域産業の活性化を図りたい。

| | | |
|------|-----------|--|
| 課長評価 | 構成事業の進捗状況 | B: おおむね計画どおり進行している。 |
| | 施策の進め方 | A: 現状のままでよい。 |
| | コメント | 当評価指標の向上が、市内産業の連携に大きく貢献できると考える。経済状況等流動的要素が大きく含まれるが、連携と情報収集が大きなカギである。 |

| | | |
|------|---------|---|
| 部長評価 | 施策の進捗状況 | B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり順調に進行している。 |
| | コメント | 古くからの地場産業が衰退している中で、新たに地域資源を活用した新産業の創出が急務とされている。そのためには癒しとアンチエイジング事業の推進、新たな地域資源の発掘、産学官交流ネットワークの拡充等が必要である。今年度から始めた交流サロンにより産学官の連携、異業種交流を促進するため、新たな一歩を進み出した状況であり、今後の成果に期待するところである。 |

施策に属する事務事業一覧

| 総合計画 | 所管課 | 番号 | 事業名 | 人件費を除く 事業費(千円) | 人件費 (千円) | 人工 | 総合 評価 | 事業の 種別 | 市長 マニフェスト | 実施 計画 |
|------|---------------|-----|-----------------|-------------------|-------------|------|----------|-----------|--------------|----------|
| 2-5 | 企画広報課 | 17 | 地域開発事業 | 203,731 | 8,275 | 1.05 | A | カ | 3・4 | ○ |
| 2-5 | 観光商工課 (商工) | 252 | 創造的事業活動支援事業 | 0 | 839 | 0.11 | B | オ | 3 | × |
| 2-5 | 観光商工課 (商工) | 259 | 癒しとアンチエイジング推進事業 | 2,800 | 825 | 0.13 | B | オ | 3 | ○ |